

事務局からのお知らせ

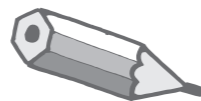
緑化関係事業者研修会の開催

日時／令和2年2月18日(火)(時間は調整中です)
場所／群馬県緑化センター(邑楽郡邑楽町)
内容／伐木造材作業(チェーンソー作業)特別教育(補講)
対象者／安全衛生規則第36条第8号の修了者
林災防発行の修了証をお持ちの方(林災防以外で資格取得された方は修了証明書が必要です)
受講費用／5,000円程度
※正式な案内と申込み様式は後日ご案内いたします。

チェーンソー特別教育の補講

(2020年7月末までに受講してください)

「労働安全衛生規則の一部を改正する省令等の施行について」(平成31年2月14日付け基発0214第9号)により定められた補講については、令和2年8月1日の施行日までに受講されないと、施行日以降にチェーンソーを用いた伐木造材作業に就けないため、伐木の業務(安衛生規則第36条第8号)の修了者の方は忘れずに受講してください。



編集後記

とうとう消費税が10%に引き上げられました。今後の家計への影響が心配される反面、増税に伴ったキャッシュレス決済によるポイント還元やキャッシュバックなど…得になる事もありそうですが、少々混乱している状況です。軽減税率の制度も解りにくく、生活に馴染むには時間がかかりそうです。

さて、緑化協会では第35回通常総会に於いて多くの理事が交代になり、令和の出発とともに新役員体制で今期事業がスタートしております。新役員の皆様2年間どうぞ宜しくお願いいたします。そして、新しい試みのフォトコンテストも好評の中、総会参加者に厳選に投票いただき、受賞者の決定に至りました。

応募作品を観ることで、それぞれの個性や得意技術を垣間見ることができ、交流を深める機会にもなったのではないのでしょうか。次年度以降も開催いたしますので、時の経過とともに馴染み深くなるだけでなく、会員の皆さまに喜ばれ楽しんで貰えればと思っています。たくさん作品のご応募を心よりお待ちしております。

会報

造園群馬

No.93 令和元年10月18日
発行 一般社団法人群馬県造園緑化協会
前橋市朝日町3-12-20 TEL.027-243-5693
印刷 小島印刷株式会社
伊勢崎市西小保方町501-4 TEL.0270-62-3298

川場田園プラザ

利根郡川場村大字秋室385

広い園内には、地元の農家が栽培した野菜などをはじめ、多種多様な商品が盛りだくさんのファーマーズマーケットや、蕎麦やパンなど、園内で食べ歩きを楽しめる。木工や陶芸、ブルーベリー狩りなども人気がある。



訪れる人たちは増加の一途

川場田園プラザは、日本100名山の一つである武尊山の麓に立地する、豊かな自然に囲まれた環境で、食べたり遊んだりをたっぷり堪能できる「道の駅」だ。小さな子供も遊べる「プレイゾーン」もあり、ファミリーにも支持されている。テレビなどのマスコミにもたびたび取りあげられるなど、人気は高まる一方だ。今では年間180万人が訪れる人気スポットとなっている。

メインの施設は、地元の農家が栽培した新鮮野菜や果物を中心に、加工品や特産品などを豊富に販売する「ファーマーズマーケット」。旬の食材が安価に提供されることもあり、品切れになることも珍しくない。ほかにも、地元食材を使用したレストラン「あかくら」、川場の地ビールを製造販売する「ビール工房」、ヨーグルトが大人気の「ミルク工房」など、たくさんの施設があり、どれも賑わっている。

年々増える観光客に対応するため、駐車場の増設や、駐車情報をコンピュータ管理化するなど工夫している。

2015年の「観光庁長官表彰」をはじめ、国土交通省全国モデル「道の駅」★★★(スリースター)選定、tripadvisor(トリップアドバイザー)エクセレンス認定2015受賞ほか、高い評価を得ている。関越自動車道沼田ICから約10分。



池では鯉や水鳥が遊ぶ。橋の名前は「ほろよい橋」。

右の写真中央の建物は「そば処虚空蔵」。その手前は秋穀田。

店舗&施設

- ファーマーズマーケット
- カフェプレミア
- そば処虚空蔵
- 蕎麦屋 川匠
- あかくら
- 田園プラザベーカリー
- カフェドカンパニー
- ソフトクリームCOWBELL
- Kawaba Roof the Diner
- ミルク工房
- ビール工房
- ホテル田園プラザ
- 川場村観光協会
- 地ビールレストラン武尊
- ピザハウス
- 川場物産センター
- ミート工房
- かわばんち
- 村の花工房・みみずく工房
- ろくろ体験陶芸教室
- 名主の館
- プレイゾーン
- ブルーベリー公園

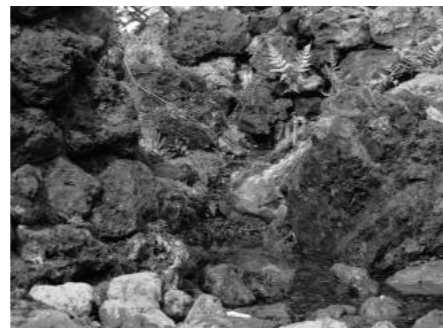


手前が「ちびっこグレンデ」、奥が「プレイゾーン」。写真には写っていないが、遊具がいくつもあある。

会長と副会長が陣中見舞い 全国都市緑化信州フェア

第36回全国都市緑化信州フェア(2019年4月25日~6月16日開催)の庭園出展コンテストに、造園3団体(日造協、造園協、造園連)が共同出展されました。

作庭作業中の平成31年4月18日(木)に、緑化協会を代表し、会長・副会長が陣中見舞いに行かれました。



臨時総会・第35回 通常総会開催

●とき／令和元年5月17日(金)午後3時15分～5時00分 ●ところ／前橋高等職業訓練校



令和初の総会が滞りなく進行。慎重審議の末、全議案が承認・可決。

流暢な話し方に定評のある福田勝巳さんの司会により、定刻通り開会されました。武藤会長の挨拶の後、桐生支部の物故会員3名(矢島伊知郎・深津一郎・下山雅雄の各氏)に黙祷が捧げられました。

その一方、新たな会員が加わるという明るい報告もありました。桐生支部矢島さん、太田支部浅倉さん・渡邊さん、館林支部野口さんの4名で、それぞれが自己紹介や抱負などをまじえて挨拶しました。

続いて表彰が行われました。「特別会員」として前橋支部の福田英貴さん、太田支部の浅倉清一郎さん、「名誉会員」で太田支部の浅倉由春さんです。

続いて、監事の樋下田俊明さんによって総会成立確認報告が行われました。会員数82名のうち、出席者37名、委任状27名、合計64名であり、成立したとの報告が行われました。

その後にかかれた臨時総会では、議長団に根岸憲一さんと深澤直久さんが選出され、書記に桐生支部の下山さんと前橋支部の木暮さんが選任、議事録署名人に館林支部の神谷さんと前橋支部の川島さんが選出されました。

議案の「平成30年度監事の件」では、1名欠員となっている監事の候補として、福田勝巳さんによって木村重太郎さんが推薦されました。全員が承認し、これをもって臨時総会が閉会しました。

続く通常総会では、議長団、書記、議事録署名人ともに臨時総会と同じメンバーが選任・選出され、議事が進

められました。

第1号議案と第2号議案は一括審議され、福田勝巳さんの詳細説明後、監事代表の樋下田俊明さんによる監査報告が行われました。全員の承認によって第1号議案・第2号議案が承認されました。

第3号議案の任期満了に伴う役員改選は執行部に一任され、次年度新会長の須永宜夫さんを始めとして、当

総会次第

1. 開会のことば
 2. 会長あいさつ
 3. 物故会員黙祷
 4. 新入会員紹介
 5. 永年勤続表彰(該当なし)
 6. 特別会員および名誉会員表彰
 7. 臨時総会・総会成立確認報告
-
- 臨時総会
8. 議長団選出……根岸憲一・深澤直久
 9. 議事録署名人の選出および書記の選任
 10. 第1号議案 平成30年度監事の件
 11. 議長団解任
平成30年度会計監査
-
- 第35回通常総会
12. 議長団選出
 13. 議事録署名人の選出および書記の選任
 - 第1号議案 平成30年度事業報告・会務報告
 - 第2号議案 平成30年度収支決算報告
 - 第3号議案 任期満了に伴う役員改選の件
新役員紹介
 - 第4号議案 令和元年度事業計画(案)
 - 第5号議案 令和元年度収支予算(案)
 - 第6号議案 その他の件(顧問委嘱の件)
報告事項
 14. 議長団解任
 15. 退任理事感謝状贈呈
 16. 閉会のことば



会場後方では工具などが販売されていて、買った人も少なくなかったようだ。



いつものように、福田さんが流暢な話し方で司会を務める。



物故者3名の方に1分間の黙祷が捧げられた。



新会長に選出されて挨拶を述べる須永宜夫さん。



監査報告を行う樋下田さんと木村さん。



議長団は、臨時総会と通常総会を通して同じメンバーで構成され、スムーズに進行された。



新しく入会された4名の皆さん。一人ひとり、それぞれの抱負などを含めて挨拶された。



須永新会長から感謝状を授与される前会長の武藤さん。

新役員

| | | |
|------|-------|-----------|
| 会長 | 須永 宜夫 | (桐生支部) |
| 副会長 | 深澤 直久 | (太田支部) |
| 副会長 | 原田 道明 | (藤岡支部) |
| 理事長 | 福田 勝巳 | (桐生支部) |
| 専務理事 | 木暮 幸一 | (前橋支部) |
| 理事 | 根岸 聡 | (前橋支部) |
| 理事 | 下山 清隆 | (桐生支部) |
| 理事 | 武井 篤 | (みどり支部) |
| 理事 | 神谷 賢二 | (館林支部) |
| 理事 | 篠崎 建治 | (藤岡支部) |
| 理事 | 浅倉英太郎 | (太田支部) |
| 理事 | 高橋 宏實 | (渋川・沼田支部) |
| 監事 | 川島 修 | (前橋支部) |
| 監事 | 木村重太郎 | (館林支部) |
| 総務部長 | 篠原 和浩 | (館林支部) |



初発案の通りすべての役員が承認されました。須永新会長は挨拶のなかで、県の行事に積極的に参加してほしいことや、今後も新会員を増やしていきたいことなどを話されました。

この後、福田勝巳さんによって第4号議案と第5号議案が上程され、いずれも慎重審議の結果、満場一致で承認されました。

第6号議案ではその他の件として顧問委嘱について審議されました。これについては会長の専決事項になっていることから、須永会長から「前会長の武藤様にお願いたします」との提案がなされ、武藤前会長も快く

引き受けてくださいました。

これですべての議案が承認され、第35回通常総会が滞りなく終了しました。議長団の根岸さんが、出席者の皆さんに感謝の言葉を述べるとともに、新役員の方々の活躍を期待しますとのエールを送り、議長団を解任となりました。

総会終了後には、理事を退任される方々へ感謝状の贈呈が行われました。前橋支部武藤敏彦さん、同じく樋下田俊明さん、桐生支部村岡章さん、みどり支部櫻井富士夫さん、藤岡支部坂本一真さん、沼田支部武井茂男さんの6名です。

第1回 造園作品フォトコンテスト開催



有限会社駒形造園さんが優秀賞を獲得。「自宅と会社の間に造ったもので、シバゴケをはりめぐらし、浅間の石を使って*動、の滝を配置。右側の巨石にも滝がありますが、こちらは*静、イメージです」



株式会社深澤造園さんの入賞作品。社長は「(優秀賞でなくて)残念(笑)。来期も負けたくないようがんばりたいと思いますので、ぜひ投票してください(笑)。よろしくお祈りします」と、ユーモアを交えながら挨拶をしていました。



出席者の方たちは応募作品に熱のこもった視線を送っていました。



有限会社駒形造園さんの入賞作品。「渋川市赤城町丁郎の茶庭作品です。奥様が茶道をたしなまれる方で、ご自宅でも茶会を開いており、作庭させて頂きました」

日ごろの仕事の成果や技術などを会員間で披露していただくとともに、優秀な作品を選出してその栄誉を讃えることを目的として、「第1回造園作品フォトコンテスト」が開催されました。

力作や傑作ぞろいの16作品の応募があり、総会会場の後方壁面に掲示されました。作品には通し番号がふられ、総会が始まるまでの間に投票が行われました。総会終了後に表彰式が行われ、駒形造園さんと深澤造園さんが栄えある賞を受賞されました。

また、せっかく優れた作品ができたのに、依頼主の承諾が得られず、やむなく応募を断念しなければならなかった会員もいたようです。

福田理事長からは、会員の皆さんに向けて「今後、優秀な作品についてはカレンダーに使うことも考えています。これからもこぞって応募してください」といった趣旨のメッセージが送られました。

応募作品



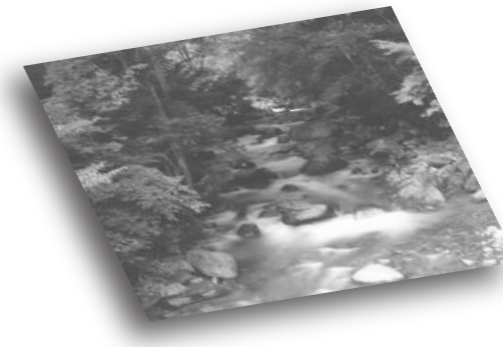
令和元年度 群馬県総合表彰を受賞

前橋支部の武藤敏彦前会長が林業の分野で受賞されました。

令和元年5月16日(木)に前橋市の群馬会館に於いて群馬県総合表彰の表彰式が開かれ、24分野で130人と3団体の受賞者の中で、武藤前会長は長年にわたり緑化と防除に尽力されたことをたたえられての受賞になりました。



自らの造園会社で個人住宅や公共施設の庭園を受注し、地域の緑化に貢献。協会では特定外来生物の防除対策などで会員の技術向上を図る。協会の技術指導員として後進の指導に当たり、成果を挙げている。
(上毛新聞より抜粋 令和元年5月3日掲載)



第2回 緑化協会フォトコンテスト の写真をご応募ください

- 造園作品を撮影した写真
- 過去に撮影した写真もOKです
(製作時期は問いません)
- 1人につき多数の応募も受け付けいたします
- メールでも受付いたします
メールアドレス shinagawa@e-392.com

設立 35 周年を記念しスタートしました
通常総会で投票受付後、受賞者を発表します
多数の応募をお待ちしております

応募方法 写真の裏面に事業所名と氏名を記入し、支部長もしくは事務局へ提出ください。



台風に翻弄された研修旅行

去る9月8・9日に隔年で行われる研修旅行が行われました。出発前に台風15号の関東上陸が心配される中での出発となりました。初日の見学場所となった箱根路、御殿場高原ビールでの昼食、食事はビュッフェ形式で飲み放題！なんと強者を発見しました。須永会長が赤ワインをジョッキで飲み干しているではありませんか。確かその前に数種類のクラフトビールを飲んでいたはずです。会長の心意気を感じました。

その後、箱根駅伝ミュージアムを見学し、小田原の定番土産のかまぼこを鈴廣にて購入。台風の大きな影響もなく宿泊ホテルに到着しました。もともと予定をしていた横浜港のディナークルーズは前日に欠航の知らせがあり、急きょ、ロイヤルパークホテル横浜の68階にある日本食割烹、四季亭を支配人にご無理を言って予約しました。

地上260メートルを超える高さからの眺望は圧巻でした。最後は室内の照明を消して夜景撮影会となりました。

その夜の横浜は風速が47メートルを超え、宿泊ホテルが揺れるほどでした。

翌日の見学箇所である三溪園は隧道が通行止めであえなく断念。翌朝の横浜市内は倒木や自販機が倒れているなど台風の怖さを実感しました。台風一過の晴天の中、中華街で昼食を取りました。なぜか、飲み物が捗り、最後は店内でも高級な紹興酒（古酒）が空となり、一口でも飲んだら同罪と妙な盛り上がりを見せていました。ですが須永会長からご奉仕を頂き、割り勘は回避されました。ごちそうさまでした。

今般の研修旅行に際し、各支部や多くの方々からのご奉仕を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。台風で翻弄された旅行も無事に帰郷することが出来ました。改めて皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。次回はより多くの皆さまに参加して頂きたいと思っております。



支配人に無理なお願いをして四季亭で食事。日本料理をたっぷり堪能した。

台風が猛威を振った横浜市内。町のあちこちに強風の爪痕が残されていた。



夜の横浜港は昼間と打って変わって、きらびやかな美しさとロマンチックなムードに染まる。

台風が去ったら晴天に。観光スポットを歩き回っているうちに汗がにじむ。



エッセー 木々是好日 31

エレガントな姿が 緑に映えるシラカバ

新木としろう (グラフィックデザイナー)

樹皮が白いことから「白樺」という名がついた、という事はよく知られているが、じつは樹皮が白いのは成木で、若い木の樹皮は赤褐色だ。白い樹皮の印象が良いためかどうか、長野県では県の木に指定している。ほかにも市町村の木に指定している自治体が多く、ちなみに群馬県では嬭恋村と片品村が村の木としている。

そして呼称だが、大手を振ってまかり通っている「シラカバ」は俗称であり、本来は「シラカンバ」が正式。比較的近い親戚筋にダケカンバ（岳樺）という木があるが、これも同様に「ダケカバ」ではないことになぜける。

生育環境としては日当たりの良い明るい場所を好む。生長は速いが寿命は70年程度であり、樹木としては比較的短い部類に入る。樹高は一般的に25m程度になるが、30mを超えるものも少なくない。幹周りは1mほど。幹は比較的まっすぐに伸び、枝は多く分かれて伸びる。

葉は秋に「黄葉」する。「紅葉」が多い自然林のなかで、白い樹皮とともに美しい存在感を放つ。

シラカバは標高の高い地域に分布するが、人間の多くは低地に居を構えるため、シラカバに接する機会は少ない。したがって花を見たことがある人は少ないはずだ。花期は春。雄花は5cmほどの房状で、長枝の先端から垂れ下がる。雌花は4cmほどで、短枝に花穂がつく。

種子は3mm程度の大きさで、薄い翼のようなものを持っている。言うまでもなく、風を利用して遠くまで種子を飛ばすための知恵だ。100gにつき34万個もの種子を飛散させるが、成木にまで生長できるのはほんのわずかだ。大量にばらまくという方法は、自然界のなかで子孫を残していくための、生命あるものすべてに共通する



群馬県立21世紀の森公園のシラカバ。この木はまだ幹も細くて若い、樹皮はきれいに白くなっている。

もっともシンプルかつ強力な方法なのだろう。

その種子が繁殖に適した地に落ちれば一斉に発芽して一族繁栄の林を作れるが、不適地に落ちた場合は休眠性を発揮して「時を待つ」ことになる。これは、地中で待機できる能力で、山火事の熱を感知するなどで休眠を解除して発芽したり、湿原が乾燥して陸地化したら発芽したりするという能力だ。山火事後に、真っ先に生えてくる木はシラカバだと言われるほどで、なかなかしたたかな面を持っているのだ。

シラカバは花粉症の原因にもなる。日本ではシラカバが多い北海道を中心に、悩まされる人が少なくない。

材の用途としては、堅い材質と美しい木目を活かし、家具材や内装材として重宝される。また、アイスキャンデーの芯の棒やカップ型アイスクリーム用のスプーン、割り箸、爪楊枝などにも加工される。

また、樹液は人工甘味料の「キシリトール」の原料になるなど、実用的な面でも役に立っている。



基本的な葉の形は三角だが、正三角形に近いものや、この写真のように長めのものもある。



白い樹皮は特徴的だ。表皮は紙のような状態で剥がれることが多い。